

## 障害児用チャイルドシート衝突試験委託業務仕様書

目的：障害児用チャイルドシート6台のスレッド試験を実施し、安全性の有無を判断する

1. 試験設備借用(一般財団法人 日本自動車研究所)(2日間)
2. 6種類の車載用座位保持装置について、35 km/hで6回、その後、40 km/hで6回の計12回の試験を行う。
3. 治具の輸送等  
試験用のシート、シートベルト及び取り付け治具を国リハから試験場までの移送および終了後国リハへ戻す。現在、当センター研究所にある旧試験台、シートを確認し、精度ある試験ができない場合、破棄する。
4. 人体ダミー搭載用センサーのレンタル  
衝突試験用人体ダミー：Hybrid-IIIタイプ 6歳児ダミーを使用  
破損や機能不全があれば、すぐに取り換えられる予備を用意すること。
5. 用意する機器について
  - ①試験用シート(中古でも可)  
トヨタ プレミオ助手席シート 2台 (実験に耐えられるもの)
  - ②シートベルト(新品を使用)  
プレミオ及び台座に取り付け可能なシートベルト 6本
6. 実験準備・立会い等について
  - ①12回の実験が2日でできるような準備の実施
  - ②実験が2日間円滑に実施され、自動車衝突の専門家の立場から必要な意見が聞けること。
7. 報告書について
  - ①報告書は紙及び電子データで作成し提出すること。
  - ②(1) 計測部位  
頭部加速度(X、Y、Z方向3軸計測)  
頸部荷重計(X、Y、Z方向の荷重及びモーメント計6軸計測)  
胸部加速度(X、Y、Z方向3軸計測)  
胸部変位(X方向 1軸)  
腰部加速度(X、Y、Z方向3軸計測：参考値)
  - (2) 画像データ  
右部、左部、天井からの3画像
  - (3) 画像データにより頭部位置データの算出
8. 実施者は国土交通省のチャイルドシートアセスメント実施の経験を持っていること。